

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/後学期/後学期 : /Second term/Second term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月5 : /Mon.5

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10121505			
科目番号 /Course Number	10160147			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	生活と経済 : Living Economy			
担当教員名 / Instructor(s)	/(小沢 修司) : OZAWA Syuji			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	講義中、1回ゲストスピーカーを招いて「消費者をめぐる社会の動き」(仮)というテーマで京都府消費生活安全センターの職員の方に講義をしていただく。	
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	経済 (= 生活の営み) の仕組みを知ることが私たち自身が社会の主人公になる上で欠かすことができない。にもかかわらず、「経済学」には私たちの生活とは縁遠い難しい学問とのイメージが付きまとう。なぜ「経済学」は日常の生活、暮らしから離れていったのか、「生活と経済」の切り口から経済学の特有なもの見方、考え方を平易に解説しながら、経済学的人間的再生を目指します。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan		
No.	項目 Topics	内容 Content
1	日 第1回	はじめにー本講義のねらいー【オンデマンド方式】

	英		
2	日	第2回	生活者とは
	英		
3	日	第3回	戦後日本経済と国民生活の貧困①-「豊かな社会に潜む「貧困」を考える-
	英		
4	日	第4回	戦後日本経済と国民生活の貧困②-「貧困と人間発達」-
	英		
5	日	第5回	都市生活の光と影-生活の共同性の解体と再建-
	英		
6	日	第6回	[ゲストスピーチ] 消費者を巡る社会の動き【オンデマンド方式】
	英		
7	日	第7回	共同性の回復と自由時間の活用
	英		
8	日	第8回	ベーシック・インカムって？
	英		
9	日	第9回	経済学が生活・家族問題を取り扱う必要と取り上げられない理由(わけ)
	英		
10	日	第10回	イリイチの「シャドウワーク」論と家族の経済学-人間復興の経済学①-
	英		
11	日	第11回	イリイチの「シャドウワーク」論を超えて-人間復興の経済学②-
	英		
12	日	第12回	制度学派と「人間」の経済学-人間復興の経済学③-
	英		
13	日	第13回	制度学派による「経済学批判」-カップの場合--人間復興の経済学④-
	英		
14	日	第14回	エコロジーと経済学-シュマッハーの場合--人間復興の経済学⑤-
	英		
15	日	第15回	エコロジーと経済学-ジョージ・ジェスク=レーゲンの場合--人間復興の経済学⑥-
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	
英	

授業時間外学習(予習・復習等) Required study time, Preparation and review	
日	<p>日頃から生活事象や社会問題を考えるにあたっては、「常識(当たり前)を疑う」こと、ならびに「何故?」と問いかけることに留意するように。</p> <p>8回目(ベーシック・インカムって?)以降は、世界で、日本でベーシック・インカムがどのように話題になっているのかについて関心を持って調べ、考えるようにしてほしい。</p> <p>本講義に対しては、67.5時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。</p>
英	

教科書/参考書 Textbooks/Reference Books	
日	<p>テキストは特に用いない。</p> <p>[参考書]『生活経済学』(小沢修司、文理閣、2000年)</p>
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	<p>講義中に実施する小レポート(30点)、期末課題(レポート)提出(70点)</p> <p>期末課題(レポート)の提出資格は、2回目から15回目まで14回の講義のうち9回以上出席。</p>

英	
留意事項等 Point to consider	
日	本講義は対面（ただし初回と第 6 回目、あと 1 回（未定）はオンデマンド方式）により開講する。
英	